

大判ウェットティッシュ 製造機導入により内製化 を進め売上高の拡大と 利益率の向上を図る

大判ウェットティッシュ製造は、当社の事業領域である販促業界においてニーズが高まる傾向にあった。そんななか、高付加価値商品となり得る大判ウェットティッシュの自動製造マシンを導入したことで、これまで外部に委託していた加工及び製造の内製化を実現。内製化により、リードタイム短縮や、品質向上、コストダウンを図ることができ、今後の商品多角化に弾みをつけた。



01 取り組みの経緯

ノベルティ等の販促ツール(SP)の製造販売を主力事業とする当社。商品生産すべてを外部へ委託しながら化粧品の販売許可を取得するなど商品ラインナップを拡張してきた。そんななか、SP業界で需要が高まっていた大判ウェットティッシュにおいて、クライアントから品質やコスト、納期などの面において、向上ニーズが強まってきていたため、一貫管理が難しい外部委託から内製化への切り替えを実現するために自動化マシンの導入検討を進めた。

02 実施内容

本事業では当社の代表取締役を本事業の統括責任者とし、プロジェクトリーダーなど主要6人体制で実施を進めた。リードタイムや品質、コスト面の課題を解消できる「全自動ウェットティッシュ製造ライン(大判タイプ)装置」の導入を決定し、試運転を経て今後主力展開し得る『ウェットキッチンクロス』『ウェットティッシュラージ』を試作。今後は、製造ラインを化粧品製造品質基準に準拠した工場棟に設置し、品質管理を自ら行う。



03 成果

導入マシンで仕上がりまでの自動製造ができ、従来品質と遜色ない仕上がりを確認できた。ロスのない生産管理及び納期短縮が可能となり、生産コストのみならず、人的コストや、これまで外部委託先を経由する運送・運搬費についても削減できるため、大幅なコストダウンを実現。品質・納期・価格においての付加価値を高められたことで、主力商品である販促品の他に、業務向け及び消費者向けのPB・OEM商品として商品開発も展開していく。



2020年10月より発売。新商品『流せるトイレクリーナー』はしっかり水解される使い切りのエチケットアイテム。

水に流せるタイプの掃除用シート類の多くは水解しないまま流れて水道管に詰まってしまうことが多く、海外で問題視されている。そこで当社では、トイレトーパーのように素早くしっかり水解されるトイレ用拭き取りシートを開発。女性の声から生まれた1枚入りの使い切りタイプなので、ポケットなどに携帯できる便利仕様。

代表者メッセージ



代表取締役
内田 浩二

「明るく元気で気持ち良く働ける会社創り」という経営理念を軸に、社員とともに日本の企業を元気にしたい。

環境問題をはじめ、政治、経済面においても問題は山積みです。コロナ禍では当社の主力事業の強みを活かしたマスク製造依頼が殺到。安全面・品質面には細心の注意を払い、工場内作業の調整を図るなどして本事業で導入したマシンをフル回転しています。おかげさまでこの度、経済の中心的な担い手となりうる事業者「地域未来牽引企業」に選ばれました。今後とも日本の企業を元気にするため、社員一同邁進する所存です。

企業情報

所在地	香川県丸亀市垂水町3001-2
TEL	0877-28-7811
設立	1957年5月
代表者	内田 浩二
業種	パルプ・紙・紙加工品製造業
従業員数	70名
事業内容	紙製品・ノベルティ・販促品等の製造・販売